



おれんじニュース

No.4 2 6

2025 年 11 月

岩と風の稜線で
アルプス特集

八峰キレットから仰ぐ五竜岳

2025 年	11 月	12 月	時 間	場 所
専門部会 全体集会	22(土)	27(土)	13:30~14:30	西諫早公民館
			14:30~16:00	

CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
西穂山荘・丸山	5
鹿島槍ヶ岳・五竜岳	6
槍ヶ岳	8
未完の北八ヶ岳	10
おれんじカレンダー	12



月例山行案内

11 月

★下記は変更になる場合があるので最終的に配布される計画書で確認願います。

部	技研部	ひまわり部	自然・山行部
月 / 日 (曜)	11/2 (日)	11/28 (金)	11/30 (日)
山名 (行事)	渡神岳	作礼山	城山・金山北岳
地 図	豊後大野	相 知	築前東郷、吉木
集 合 場 所	西諫早駅 6:30	緑地公園 7:30	西諫早駅 6:30
難 易 度	体力 1.5 / 技術 1.5	体力 2 / 技術 1	体力 1 / 技術 1
帰 着 時 間	19:00	17:00	18:00
歩 行 時 間	4.0 h	4.0 h	4.5 h
交 通 手 段	マイクロバス	マイカー	マイクロバス
宿 泊 施 設	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし
参 加 費	5,000	2,500	4,000
申 込 期 限	10/20	11/25	11/23
集 約	福 田 (090-4515-0948)	田 中 (090-6519-5437)	工 藤 (090-5472-9084)
備 考	紅葉を観賞します。	人生の並木道を歩く。	照葉樹林の森林浴と紅葉を楽しむ。

12 月

★下記は変更になる場合があるので最終的に配布される計画書で確認願います。

部	技研部	自然・山行部	ひまわり部
月 / 日 (曜)	12/7 (日)	12/14 (日)	12/26 (金)
山名 (行事)	熊群山	基山、天拝山	唐八景、星取山、鍋冠山
地 図	熊群山 (大分県)	二日市、不入道	長崎東南部
集 合 場 所	西諫早駅 6:30	西諫早駅 7:00	緑地公園 9:00
難 易 度	体力 1.5 / 技術 1.5	体力 1 / 技術 1	体力 1 / 技術 1
帰 着 時 間	19:00	17:30	15:00
歩 行 時 間	4.0 h	4.5 h	3.5 h
交 通 手 段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー
宿 泊 施 設	なし	なし	なし
温 泉	なし	なし	なし
参 加 費	5,000	5,000	800
申 込 期 限	11/30	12/7	12/23
集 約	本 多 090-4519-3030	工 藤 090-5472-9084	田 中 090-6519-5437
備 考	奇岩の連なる、鎖場に挑戦する。	古代山城跡と菅原道真ゆかりの山を散策する	眼下に広がる長崎港の風景と女神大橋の眺めよし



事務局より

1. 会員の動向(10月1日付)亀川 仁氏が退会されました。
2. 来年の労山カレンダーの注文締め切りが近づいています、購入漏れはありませんか？
3. 10月9日にカブトガニアリーナにて県連主催の山筋ゴーゴー体操が開催され、参加者34名、オレンジから4名(白石、浦田、原、高田)が参加しました。山之口さん(カルチャー)が講師で、山筋ゴーゴー体操を分かり易く教えていただきました。毎日、家で実施したいと思いました。



4. 皆さんにお知らせです。吉原 昌弘さんが県展に入選されました。

山以外の趣味でも頑張って
おられた吉原さんが、今年
の県展の写真部門で入選さ
れました。おめでとうございます。
一瞬を逃さないカ
メラワークはもちろんのこと、
忍耐強さが今回の賞を
得たのでしょう。

吉原さんの今後のご活躍を
祈念申し上げます。



5. 県連行事

- (ア) 11月29日(土) 14:00 評議委員会 場所：県連事務所
(イ) 11月30日(日) 10:00 黒木梅園の整備

6. 全国関係報告

11月15日～16日：全国登山研究集会(大阪)

定期トレーニング

コンパニオンレスキュー

開催日	場 所	参加者数	訓練概要
10月4日	諫早運動公園	10	ルペルソの使用方法、ビレイ

*25歳の若者が参加し、岩や沢登りを出来るようになりたいとの事で、まずはロープワークの基本から学ぶことにしました。



火曜登山

開催日	場 所	参加者数	概 要、行 程
9月16日	郡岳	5	
9月23日	烽火山	5	ペット霊園～烽火山
9月30日	川棚 虚空蔵山	10	木場ルート
10月7日	妙見～国見岳を往復	5	
10月14日	大村 鳥甲二合半	3	

水曜登山

開催日	場 所	参加者数	概 要、行 程
9月17日	矢上 金比羅山	7	春日町バス停～青年の家
9月24日	八天岳	5	土師野尾ダム～八天岳
10月1日	経ヶ岳	6	平谷～経ヶ岳ピストン
10月8日	岩屋山	10	油木～小江原ルート
10月15日	多良見虚空蔵山	6	鎌倉山～水洗山

緑の地平線歩き

開催日	場 所	参加者数	概 要、行 程
9月11日	運動公園～上山公園	3	
9月18日	飯盛山	6	
9月25日	古賀植木の里を散策	2	散策ルート回り
10月7日	長崎秋の芸術鑑賞	4	長崎駅から長崎県立美術館



山下ふ、高森、高田、中野



ヘリから山荘に荷物を降ろし

行 程

9/2 6:26 諫早発—11:18 新大阪駅
—2:25 名古屋駅—15:12 高山駅
—17:40 ホテル着

9/3 8:30 ホテル発
—9:00 新穂高ロープウェイ鍋平高原駅
—9:20 西穂高口駅
～11:40 西穂高山荘～12:09 丸山
～13:10 西穂山荘で昼食/泊
(台風情報が入り 4 日以降の高山観光をキャンセルする。)

9/4 6:30 西穂山荘発
～8:30 西穂高口駅(ロープウェイ)
—9:17 新穂高温泉駅—11:00 高山駅
—15:40 富山駅—17:40 敦賀
—19:20 新大阪駅—23:35 諫早駅



概 要 後期高齢者になったとはいえ以前経験したアルプスの眺望が忘れられず、去年からロープウェイを利用した登山を実施している。今年は西穂山荘から丸山、できれば独標ふもとまで行く目標であった。生憎、天気はあまりよくない。西穂高口駅までロープウェイ、そこから山荘へ向かう。私たちにとっては急坂で大小の岩がゴロゴロして足場は悪い。気を引き締めてゆっくり登る。山荘に着き休憩後、天気が心配だったのですぐに丸山に向かう。これまでより坂道も急ではなく足場もよかったので 30 分ほどで丸山に到着。幸いなことに晴れ間がでてまわりの山々がみえたし、眼下には上高地、梓川もみえた。独標から下山した人達によると途中風がひどく引き返してきたという事だった。私たちも丸山から引き返した。夜台風の情報がはいり高山観光の予定を取りやめ、急遽 4 日に帰宅した。

感 想

- ※ 西穂に行く前から膝痛がぶり返し底いながら登ったせいか、これから丸山というところで足がつったが、何とか四人で丸山に立つことができた。近くの山々と違った眺望に満足。56 年ぶりの山荘も今の時代に合うように変化していた。
- ※ 重い荷物を担いでみんな無事に上り下り出来てほっとしている。雨にも合わずアルプスの景観を味わうことができてよかった。
- ※ 丸山から青空をバックに見上げた”西穂独標”、その山頂に立っている姿をみて「アー、あと 10 歳若ければ、、、」と思った。一方、高齢者四人が重いザックを背負っているそばを、スカートをはいている無防備な外国人女性をみかけた。もっと山登りに対する自覚を持ってほしいものだ。

7/21～7/24 鹿島槍ヶ岳・五竜岳縦走



鹿島槍ヶ岳：南峰



西遠見山より望む五竜岳

<行 程>

2025/7/21～24 扇沢～鹿島槍ヶ岳～八峰キレット～五竜岳～アルプス平駅

縦走 3 泊 4 日 縦走者：本多一幸・堺嘉孝

- ・7/21(月) 扇沢～柏原新道～種池山荘泊(冷池山荘を変更) 5.5 km/6 時間 30 分
- ・7/22(火) 種池山荘～鹿島槍ヶ岳～八峰キレット～キレット小屋泊 7.4 km/8 時間 04 分
- ・7/23(水) キレット小屋～口の沢の科尔～五竜岳～五竜山荘泊 4.1 km/7 時間 14 分
- ・7/24(木) 五竜山荘～大遠見山～小遠見山～アルプス平駅 7.5 km/4 時間 26 分

<概 要>

- ・7/21 扇沢バスセンターから 10 分ほど下り柏原新道がある。ここが扇沢からの登山口。
1 km ほど上り 2,400m の尾根に出て 3 時間先の冷池山荘泊の予定。歩きを進めると高度と共に疲労度合いも上がってくる。体力の消耗が激しくて気力も限界に達している。尾根上の種池山荘に宿泊のお願いをしたら、快く承諾して頂きました。“助かった”。
- ・7/22 この山行でメインの鹿島槍ヶ岳に向けてスタートする。スムーズに距離を稼ぎ「南峰・北峰」と進み難所の「八峰キレット」に足を踏み入れる。狭く、細い岩場が続く緊張感を緩めることができない。
足の掛かりは？ 岩の掴み具合は？ 確認の数は多数だ。“ハラハラドキドキ”の先には安堵感。キレット小屋が眼に映った瞬間だ。
- ・7/23 キレット小屋スタートの「口の沢科尔」をクリアーして「五竜岳」に向かう。「岳」は目前にそそり立っている。“これを昇るのか”と言う感覚だ。三点支持どころか、四つん這いに。ガレ場で足元の踏ん張りが効かず冷や汗もの、恐怖感を伴いながらやっところさ頂上へ。
“やったー！”下って五竜山荘へ着く。町の高校生の団体が教育の一環で上って来ていた。受け入れの部屋数が豊富で賑やかだった。山荘へのアクセスの良さも人気の要素の一つであろう。
- ・7/24 五竜山荘スタート“今宵は我が家で一杯”との思いの中、大遠見山から小遠見山途中での視界は北の「白馬三山」の山並みが迫力の雄姿を見せ感慨深い。やがて五竜プラザ到着。
帰路は新宿～羽田空港～長崎 この 4 日間怪我無く天候にも恵まれ無事に終えることができた。



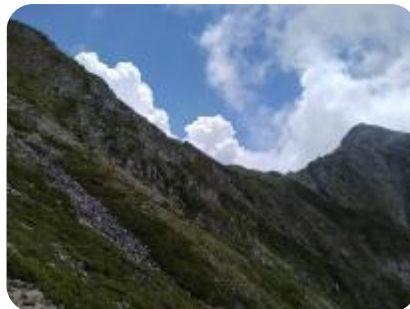
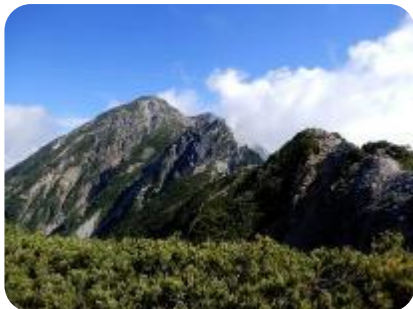
鹿島槍ヶ岳



お世話になった種池山荘



暮れ行く鹿島槍ヶ岳



難所の八峰キレット



チングルマ



イブキジャコウソウ



シナノキンバイ

9/1～9/6 槍ヶ岳



行 程

9/1 16:34 諫早
 9/2 7:50 名古屋-松本-13:30 上高地-14:50 明神館泊-明神池
 9/3 7:50 明神館～10:00 横尾山荘～12:50 槍沢ロッヂ宿泊
 9/4 5:40～12:20 槍ヶ岳山荘～14:30 槍ヶ岳山頂 15:00
 ～15:30 槍ヶ岳山荘宿泊
 9/5 6:20～11:50 槍沢ロッヂ～14:00 横尾山荘～16:20 明神館泊
 9/6 5:40～6:30 上高地 7:50-松本-名古屋-17:30 博多 19:10
 ～21:41 諫早インター

参加者：福岡、工藤、今坂、白石

概 要

9/3 明神館出発時穏やかな天気の中、梓川沿いの整備された樹林帯の登山道を歩き横尾山荘に2時間で着いた。ここからの登山道は細く一部砂利道や岩場もあり、多少の高低と渡渉部、木橋等変化のある中、道路沿いのトリカブトやサラシナショウマ、キツリフネなどを愛でながら12時50分に槍沢ロッヂに着いた。

ここは槍ヶ岳登山の休憩基地的な場所で登り下りの登山客で賑っていた。



我々も昼食後風呂を浴び、ゆっくり休憩し今日はここに宿泊。

9/4 5:40 槍沢ロッヂを出発、ここから起伏もあり、山の斜面の低木樹林の登山道を徐々に高度を上げながら3時間余

歩くと、登山道はハイマツ地帯に入る。左側斜面の天狗池登山道付近には一か所のみ雪渓が残っていた。梓川の源流付近を過ぎたあたりで、前方の霧に浮かぶ尾根を確認、疲れもピークに達しているが一安心。



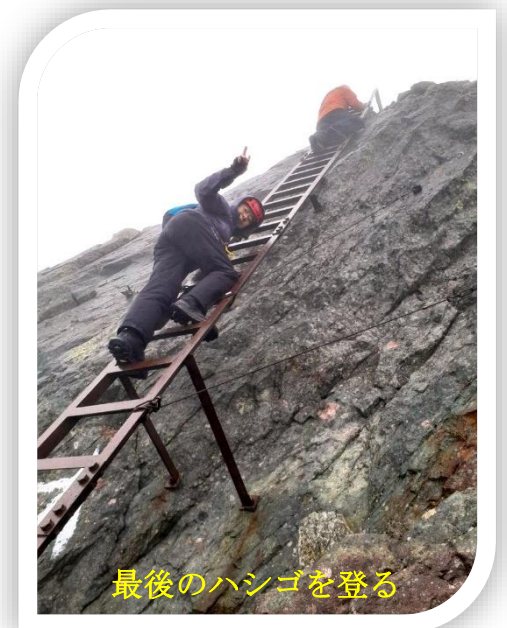
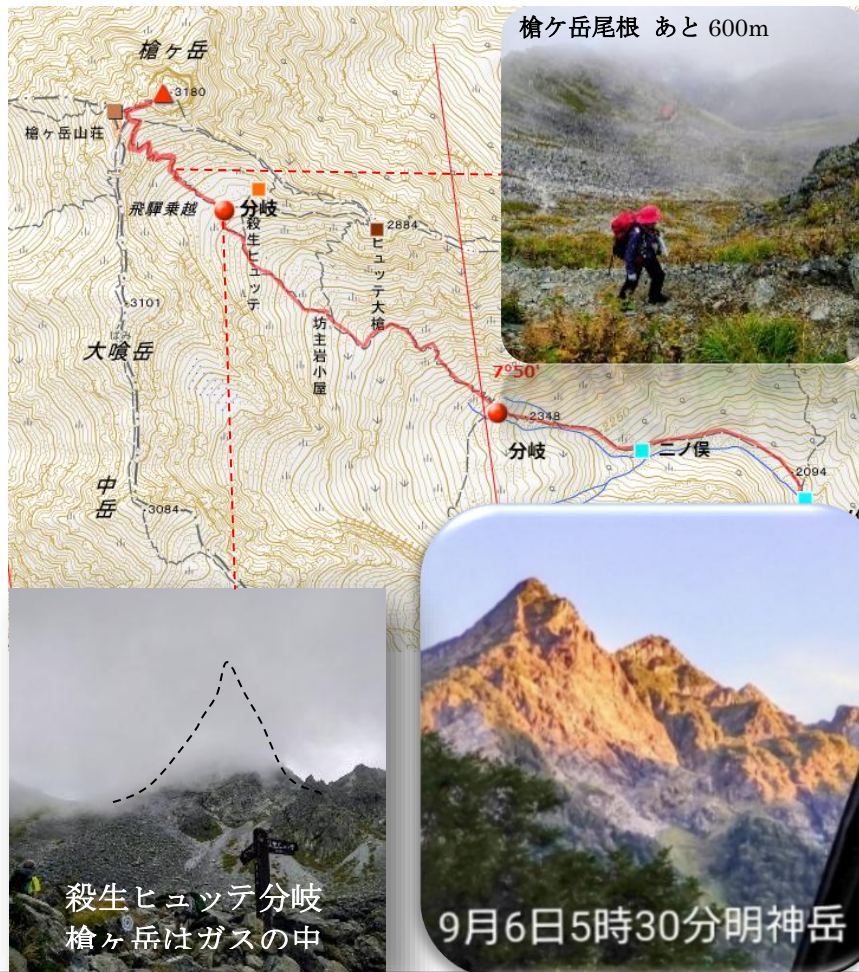
槍ヶ岳山荘の確認できる場所まで登ると残り約1kmとなるが、ここからは岩の目印を頼りに岩と岩の間を慎重に進んだ。最後の登り

600mはつづら折れの道で斜度も一段と上がり、一步一步足を前へ最後の力を

振り絞り、時間を要したが何とか槍ヶ岳山荘に12時20分到着、当然槍ヶ岳はガスの中で確認できなかった。雨模様で疲労もあり1時間程休憩をして、槍ヶ岳登頂をほぼ諦めかけたが、せっかくここまで来て登れないのは悔しいので、小雨の間をねらい目前にそびえる岩塊の尖塔にアタック、数か所のクサリ場、ハシゴを頼りに岩場の道を進み、頂上に15時に到着。

山頂部は意外と狭く、先着の 80 代女性と同時出発した韓国の 4 名とで計 9 名が山頂にたった。残念ながら、展望もないので記念写真を撮り下山した。下山時は濡れた石の足場に注意をしながら鎖を握りしめ慎重に下った。幸いにガスで視界が 10m 程しかなくあまり恐怖感はなかった。

9/5 早朝夜明けを待って槍ヶ岳山荘を出発。小雨の中、粛々と進み午前中に槍沢ロッジに到着、昼食を摂り小休止して雨もやんだので出発、徐々に天気も回復し、涼風を受けながら梓川沿いの登山道を歩いた。15 時頃には晴れ間も見え始め、遭遇した猿の写真を撮り、朝日に浮かぶ明神岳の勇姿、梓川の情景と前方の焼岳の威容も確認できた。



感想

- * 昨年からの宿題槍ヶ岳の山頂に立つことが出来ました。二日目坊主小屋を過ぎた頃から徐々に足が重くなり、槍ヶ岳山荘が見えてからは休憩の回数が多くなったが何とか山荘に到着、即山頂を目指す元気もなく、休憩を取り天気を確認して小雨のなか山頂を目指し 3 時頃登頂。山頂からの景色を楽しめなかったのは残念でしたが、遠くからではあったが行きも帰りも槍の穂先が見られてよかった。
- * 『天に聳える槍の穂先』を期待したが、雨模様で槍沢ロッジからの一瞬確認出来ただけでした。9 月 4 日 4 人のパーティーで槍ヶ岳登頂です。三つの稜線では数か所のハシゴ、クサリ場、岩登りの連続でした。小雨の中緊張感をもって慎重に登り穂先では高度感と存在感をたっぷり堪能しました。メンバー各自持ち味を発揮、協力してまとまった行動のおかげで安全な登山が出来たことは最高の山行記念になりました。
- * 槍沢ロッジから槍ヶ岳山荘までは急坂が続き厳しい登りでした。槍ヶ岳山荘手前では雨、霧で槍ヶ岳は見れず断念！しかしこのまま登らずに帰れないと思い、頂上にアタック登る人も少なく、マイペースで岩場、クサリ、ハシゴで上がったが展望はなかった。明神館、槍沢ロッジ宿泊は初めてだったがそれぞれの小屋の特徴があり、良い雰囲気を楽しめた。ただ、梓川の上流は工事中で昔の美しい風景が少なくなっていたのが心残りでした。

9/28~10/2

未完の

北八ヶ岳

概要

9/29 縦走初日雨、唐沢鉱泉を3時間ずらして9時に出発。重いザックを背負って、濡れた岩ゴロゴロの道を乗り越えて4時間。黒百合ヒュッテにヘトヘトになって転がり込む。ここで泊まりたいが、まだ道半ば。天狗岳は時間と雨と体力で諦めた。白駒池へはニュル経由に変更。岩と根が交錯する道を慎重に下る。16時、森は次第に薄暗くなり、心細さを覚えながら下り続けた(ウンザリ)。17時、ようやく白駒池、どっと疲れが出た。

9/30 快晴。鏡のような白駒池に朝日が差し込む。0さんは膝の調子が悪く、やむなく下山する事に。8時三人で北へ向かう。茶臼山、縞枯山の濡れた岩ゴロゴロの急登を避け、五辻経由を選ぶ。苔むした静かな森の中を抜けロープウェイ駅に出た。その展望台からは曇りの為、全アルプスのパノラマを見る事は出来なかった。坪庭～北横岳ヒュッテに13時過ぎに到着。岩場続きの道に体は限界だったが、ヒュッテの主人(元山岳救助隊員)の勧めで近くの七ツ池へ向かう。風のない湖面に紅葉が映え、感動した。翌日は雨予報、主人の助言もあり、蓼科山を断念して下山を決める。HYさんとUさんは北横岳をピストン。ご主人との炉端話は興味深い一時であった。

10/1 夜明け前に目を覚ます。雲の切れ間に僅かに見える青空。だが、山はもう雨を呼んでいた。7時に出発し、微な雨に追われながらロープウェイ駅へ。ヒュッテの主人がガスボンベ(20kg)を背負って下山してくる姿を見て、その体力にただ驚く。午前中に茅野に着き、0さんと再会。ホテルで風呂と着替えを済ませ、居酒屋で小さな反省会。全員無事で何よりであった。

10/2 わずかな時間であったが、爽やかな高原の町、歴史ある神社、城、考古学館など散策出来て、旅の良い思い出になった。

反省点: 天気の影響もあったが、次の二点で殆どの山を踏めず

1. 初日は黒百合ヒュッテ泊とすべきであった、その為には1日不足。
2. 技量、体力的に蓼科山まで一気通貫の計画には無理があった。

唐沢鉱泉～黒百合ヒュッテ～東天狗岳～白駒池～茶臼山～縞枯山～北横岳ヒュッテ～北横岳～蓼科山



東天狗岳(2,640m)を望む



黒百合ヒュッテ(2,400m)



岩ゴロゴロ道を悪戦苦闘(下り)



岩ゴロゴロ道を悪戦苦闘(登り)



唐沢鉱泉(1,870m)



パーティー 鎗水、浦山、大原、吉川

行程

9/29 雨／曇 9:00 唐沢鉱泉～13:00/13:30 黒百合ヒュッテ
～14:00 ニュウ分岐～15:20 ニュウ麓～17:00 白駒荘

9/30 晴／曇 8:00 白駒荘～8:50 麦草峠～10:20 五辻
～11:05/11:50 北八ヶ岳ロープウェイ
～13:10 北横岳ヒュッテ～8:00 北八ヶ岳ロープウェイ

10/1 雨／曇／雨 7:00 北横岳ヒュッテ～8:00 北八ヶ岳ロープウェイ

10/2 晴 観光(国宝尖石縄文土偶、諏訪大社、松本城)



北横岳ヒュッテ(2,400m)



七つ池の紅葉(2,373m)

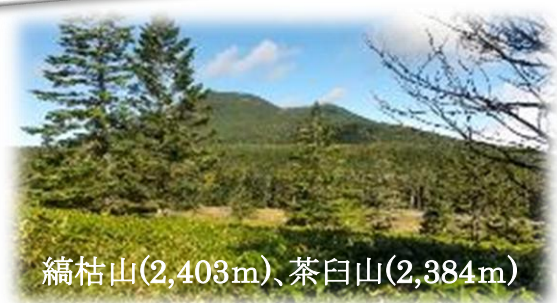
身を削るほど
登りつめて、
七つ池に映る
紅葉の鮮やかさに
疲れは風のように
消えた。

感想

知人から八ヶ岳は難しくないよとの言葉を安易に信じて今回の山行に挑んだが、聞くとやるとでは大違い、唐沢鉱泉を出発すると大きな岩石の連続を乗り越えるのに一苦勞、また雨で濡れているため滑らないかと不安も。事前に、自分で調べる事の大切さを痛感しました。計画通りに遂行することは出来ませんでした、八ヶ岳の山容は素晴らしく、非常に美しい紅葉も見ることが出来て心に残る山行でした。

初めての山小屋連泊、天候が悪かったのと自身の脚力が無かったのでエスケープした。内容を自分で調べての参加が必要でした。今後は自身の体力に合った楽しみながらの山行をしたいです。

今回の山行は天候不良や体調不良などのアクシデントが続き予定通りの歩きが出来なかった事は残念でしたが、個人の体調や考えを尊重して互いに納得できる良い選択が出来た事は素晴らしかったと思います。とても良いチームワークで互いに補い合う大切さを教えてもらいました。北横岳ヒュッテそばの七ツ池の紅葉は水面に映った紅葉が美しさを倍増させて素晴らしかった。



縞枯山(2,403m)、茶臼山(2,384m)



木道はラクチン

麦草ヒュッテ(2,120m)



白駒池(2,150m)

歩けど歩けど岩の道、足は鉛のように重く、薄暗い樹林の中で時を忘れる。やがて木立が途切れ白駒池の光がぱっと広がった。胸の奥まで明るくなるようだった。

おれんじカレンダー

11 月			12 月		
1	土	コンパニオンレスキュー	1	月	
2	日	渡 神 岳 (技研部)	2	火	火曜登山 (自主)
3	月		3	水	水曜登山 (自主)
4	火	火曜登山 (自主)	4	木	緑の地平線歩き (自主)
5	水	水曜登山 (自主)	5	金	
6	木	緑の地平線歩き (自主)	6	土	コンパニオンレスキュー
7	金		7	日	熊群山 (技研部)
8	土		8	月	
9	日		9	火	火曜登山 (自主)
10	月		10	水	水曜登山 (自主)
11	火	火曜登山 (自主)	11	木	緑の地平線歩き (自主)
12	水	水曜登山 (自主)	12	金	
13	木	緑の地平線歩き (自主)	13	土	
14	金		14	日	基山、天拝山 (自然・山行部)
15	土		15	月	
16	日		16	火	火曜登山 (自主)
17	月		17	水	水曜登山 (自主)
18	火	火曜登山 (自主)	18	木	緑の地平線歩き (自主)
19	水	水曜登山 (自主)	19	金	
20	木	緑の地平線歩き (自主)	20	土	
21	金		21	日	
22	土	専門部会 全体集会	22	月	
23	日		23	火	火曜登山 (自主)
24	月		24	水	水曜登山 (自主)
25	火	火曜登山 (自主)	25	木	緑の地平線歩き (自主)
26	水	水曜登山 (自主)	26	金	唐八景、星取山、鍋冠山 (ひまわり部)
27	木	緑の地平線歩き (自主)	27	土	専門部会 全体集会
28	金	作 礼 山 (ひまわり部)	28	日	
29	土		29	月	
30	日	城山・金山北岳 (自然・山行部)	30	火	
			31	水	

川原顧問所掌➡緑の地平線歩き (9:00)、コンパニオンレスキュー(第 1 土曜 9:30) 緑地公園集合

発 行 元	オレンジハイキングクラブ
発行 責任者	工藤 学 〒854-0051 諫早市鷺崎町 566-1 ☎ 0957-24-3987 / 090-5472-9084
編集 責任者	高田啓子
編 集 委 員	工藤学、福岡正廣、西寿男、中野美津子 陣川光子、福田清人、吉原昌弘、
発行年月日	2025 / 10 / 25
郵便振込口座	ゆうちょ銀行 17650 30444651 オレンジハイキングクラブ
ホームページ	http://orangehikingclub.com



オレンジ HP QR